

第5学年 国語科学習指導案

日 時 令和 年
場 所
指導者

- 1 単元名 資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう
- 2 教材名 固有種が教えてくれること（ 光村図書「銀河」5年 ）

3 単元設定の理由

(1) 児童観

省略

(2) 単元観

本単元は、「読むこと」の説明的な文章教材「固有種が教えてくれること」と「書くこと」の教材「グラフや表を用いて書こう」で構成される複合単元である。第4学年「アップとルーズで伝える」の学習で写真や図と本文を対応させたり、段落相互の関係に着目したりして読む学習を行ってきた。「固有種が教えてくれること」は、序論・結論に筆者の考えが書かれた双括型の文章である。形式段落ごとの主語が分かりやすく書かれているため、その段落が何について書かれているか捉えやすい。また、地図や表、写真、グラフといった多様な資料を提示しながら筆者が主張を展開していく構成が特徴的な文章でもある。

筆者は、固有種が、日本の豊かで多様な自然環境の素晴らしさを伝えてくれる存在であることを、さまざまな文章上の工夫を通して伝えようとしている。しかし、児童にとって「固有種」は初めて知る言葉である。また、日常生活ではあまり馴染みのない表現や語句も多く出てくる。そのため、言葉の意味を調べながら文章を読み進めていく必要がある。本単元の指導の重点は、図表やグラフの扱い方にあり、特に気を付けたいグラフなどの読み取りについては、情報「統計資料の読み方」で取り上げている。

(3) 指導観

本単元の目標は、図版と文章との対応を読み取ったり、それらの資料の効果を考えたりすることを通して、自分の表現にも生かして自分の考えを伝える文章を書くことである。そのため、文章を読み取る過程の中で、資料を用いる目的や効果、本文との関連を考えさせたい。一つ一つの資料の意味や効果を、本文と対応させながら、全体の文脈の中で考えたい。こうして身に付けた観点を「書くこと」に生かしていく。また、学習計画をもとにした具体的な単元のゴールをイメージさせながら学習に取り組むようにさせたい。

(4) 指導上の留意点（手だて）

ア 文章と資料を結び付けて読ませる。

資料とそれに関係する文章を線で繋ぎ、本文と対応させて資料を読み取り、線で結ぶ。また、資料の効果を考えさせる。

イ 対話的な学びの場を作る。

まず、自分の考えをしっかりとワークシートに書く時間を確保する。その後、ペアやグループ活動を通して、自分の考えを表現できる場を設定する。さらに、自分の考えを広げ深めるために、全体交流で他者との考えの違いに触れさせる。

書く活動と「説明」「話し合い」などの活動を関連付けることによって、自分の考えを整理させる。

4 単元の目標

- ◎ 情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使うことができる。 【知識及び技能(2)イ】
- ◎ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 【思考力、判断力、表現力等「書くこと」(1)エ】
- ◎ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等「読むこと」(1)ウ】

5 単元の指導計画(11時間完了)

第一次 構造と内容の把握 問題の共有(2時間)

- ・内容と書き方の工夫についての初発の感想を書く。また、本単元の資料を活用した文章を読んだり、書いたりする活動の見通しをもち学習課題を立てる。 ①
- ・音読を通して文章の内容の大体を捉える。分からない語句の意味調べをする。 ①

第二次 精査・解釈(5時間)

- ・文章の構成を押さえて論の進め方を確認し、文章の内容の大体を捉える。
 - ① 文章構成図を捉える。 ①
 - ② 各段落に見出しをつけて、筆者の意図に迫る。 ①
 - ③ 中①を詳しく読み取り、資料を用いた目的や効果について考える。 ①
 - ④ 中②を詳しく読み取り、資料を用いた目的や効果について考える。 ①(本時)
- ・文章と資料を結び付けたりその効果を考えたりして、論の進め方を捉え、要旨をまとめる。 ①

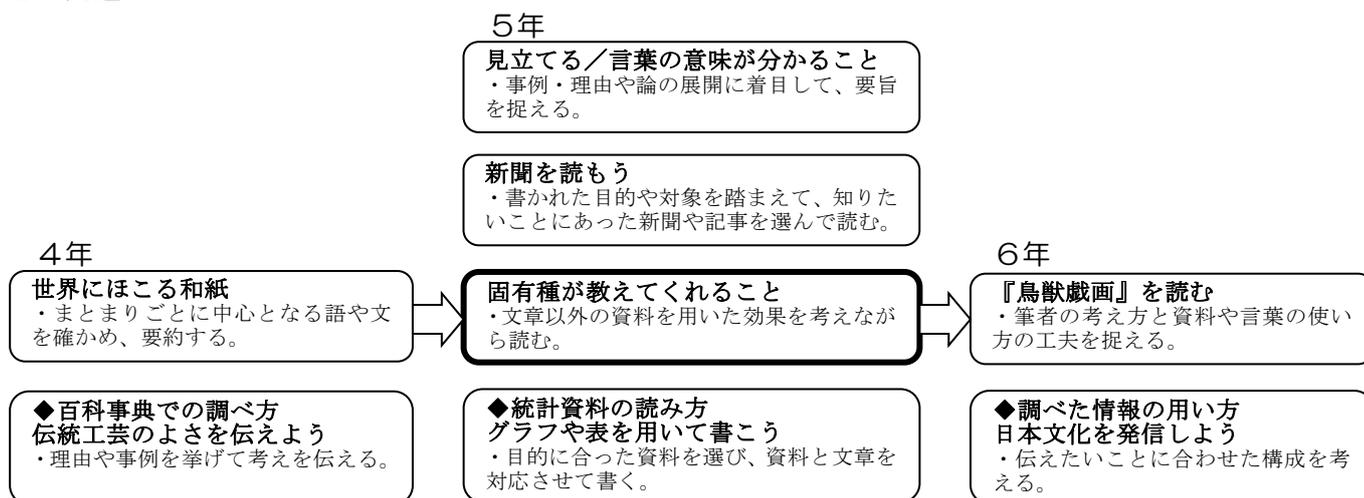
第三次 考えの形成(3時間)

- ・これからの社会について自分の考えをもち、資料を探して、適切なグラフや表を選ぶ。読み取った説明の工夫をいかして、統計資料を用いた意見文を書く。 ③

第四次 共有(1時間)

- ・観点を示しながら、文章のよいところを見つける。 ①

6 関連



7 本時の指導

(1) 目標

中②の内容を読み取り、資料を用いた文章の効果について考えることができる。

(2) 準備、資料

教師：ワークシート

(3) 指導過程

過程	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>導 入 5 分</p>	<p>1 前時の復習をする。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>中②の内容を読み取り、資料を用いた文章の効果について考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> • 中①での「固有種が生き続けるためには環境保全が大切である」という主張を強める資料とその効果について振り返らせる。 • 中②では、日本の環境の現状について読み取らせながら、資料の効果を話し合っていくことを確認する。
<p>展 開 35 分</p>	<p>3 資料から読み取れることや私たちにどんな内容を伝えたかったかを考える。</p> <p>(1) 資料5について考える。(全体) 【発問例】 「資料5は何を表していますか」 【子ども解答例】</p> <ul style="list-style-type: none"> • イメージできるために。 <ul style="list-style-type: none"> • 1905年にはニホンオオカミが、2012年にはニホンカワウソが絶滅したことが分かる。 <p>(2) 資料6・7について考える。 • 文章と資料との結び付きを考え、線で繋ぐ。 (個人→全体) 【発問例】 「資料6と7と説明している文を線で結びましょう」</p> <ul style="list-style-type: none"> • 資料から読み取れることや私たちにどんな内容を伝えたかったかを考える。(個人→ペア→全体) <p>【発問例】 「資料6と7は何を表していますか」 【予想される答え】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 資料6は、1951年から6～10年ごとの資料。だんだん減少している。1955年に特別天然記念物に指定されてからバランスが崩れる。 • 資料7は、1975年から5年ごとの資料。捕獲数が増加している。 • 資料6・7によって、生息環境の保護とのバランスが重要ということを示している。 <p>4 資料の効果について話し合う。</p> <p>(1) グループで交流する。 (2) 全体で交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 資料5は8段落に書かれていることを確認する。 • 資料と文章を結び付けて考えたときに気付いたことを考え、ワークシートに書かせる。 • 資料6・7は10段落に書かれていることを確認する。 • 文章を読み、資料について文章中に書かれている箇所と線で結ぶことで、どの段落に資料が使われているかを把握させる。 • ペアでの対話を通して、自分の考えを話したり、聞いたりすることで自分の考えを整理し、相手に分かりやすく伝えさせる。 • 資料6・7の読み取りは、補足を加えながら行わせる。 • 資料6・7は教科書では縦に配置されている。「天然林の減少と同時期に、ニホンカモシカを捕獲してきた」と誤って読み取らせないように丁寧に分析させる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・写真にすることで本当のイメージがわく。 ・数字で表していることで具体的になる。 ・筆者の考えに説得力をもたせる効果がある。 <p>(3) さらなる探究をする(発展発問)</p> <p>【発問例】 「さらに文章を分かりやすくするためにはどんな資料があるとよいか」</p> <p>【予想される答え】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニホンカモシカ以外で保護をしたことで森林が減ったという資料が欲しい ・減った面積の量が数字ではイメージができないので図のようなものがよい ・日本だけでなく海外での事例があると分かりやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・もし資料がなかったらという発問をすることで、この資料が文章理解を助けるためだけでなく、筆者の主張を支えるための資料としても活用されていることを考えさせる。 ・もっと効果的に示すとしたら、もっと分かりやすくするためにという視点も持たせながら考え、主体的に話し合わせる。 <p>(評価)資料を用いた文章の効果について考えをもつことができたか。 【思判表・読】(ワークシート・発言)</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>5 全体での交流を通して、資料の効果をもとめる。</p> <p>6 本時の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「資料を使うことで、〇〇という効果がある。」という形でまとめさせる。 ・資料の効果について、自分の言葉でまとめさせる。

手だてイとの関連

(4) 評価

中②の内容を文章と資料を結び付けながら読み取ることを通して、資料を用いた文章の効果を考えることができたか。
【思判表・読】(ワークシート・発言)

(5) 板書計画

<p>◎資料の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真は、本物が分かり、イメージできる。 ・数字で表していることで具体的になる。 ・筆者の考えに説得力をもたせる。 <p>資料を使うことで、 という効果がある。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 40px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="text-align: left; font-size: small;">資料7</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ニホンカモシカの増加。 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 40px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="text-align: left; font-size: small;">資料6</div> <ul style="list-style-type: none"> ・天然林の面積が減少。 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 40px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="text-align: left; font-size: small;">資料5</div> <ul style="list-style-type: none"> ・イメージしやすい。 ・ニホンオオカミが絶滅 ・ニホンカワウソが絶滅 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 40px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="text-align: left; font-size: small;">資料1</div> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を補う。 ・イメージしやすくする。 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 40px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="text-align: left; font-size: small;">資料2</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 40px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="text-align: left; font-size: small;">資料3・4</div> </div>
--	---